

都市局まちづくり広報誌

Kore Kara

ともに考え、動き、つくる。まちのこれから。

2015. WINTER

vol. 22

さいたま市 & 柏市

近未来へ

KICK OFF!



さいたま市と柏市の未来型まちづくりはこうだっ!



未来に向けたまちづくりを行う「さいたま市」と「柏市」。それぞれの都市で進める「環境共生」や「情報革新」などの取り組みをヌウとカシワニが紹介しちゃいます!



さいたま市

さいたま市の「都心」である大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区と浦和駅周辺地区。「都心」の機能を補完し、多様な都市機能を備えた、美園地区などの4つの「副都心」。それらを公共交通や、見沼田圃などのみどりで結ぶことにより、集約・ネットワーク型のまちづくりを進めています。

水とみどりで囲まれた、集約・ネットワーク型のまちづくり

浦和美園 環境・エネルギーをテーマにしたまちづくり

地域のまちづくり拠点として平成27年10月に開設された「アーバンデザインセンターみその」を核に、スマートホーム・コミュニティの形成や低炭素型モビリティの活用をはじめ、スポーツ、健康、環境・エネルギーをテーマとした副都心の形成に向けた取り組みを進めています。

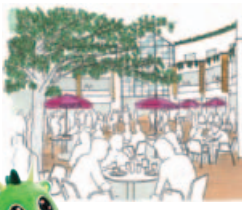


超小型パーソナルモビリティ

電気で走るから環境に優しい!



大宮 東日本の顔を目指し、地域と一体となったまちづくり



大宮駅東口周辺では「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」に基づき、街の顔となる駅前広場や駅との連携強化について検討が進められています。今後は、大宮区役所の移転をはじめ、老朽化した公共施設の再編などを行い、街区単位での再開発を具体化していきます。

にぎやかで、楽しそうなひろばだね~!

さいたま新都心 「都市」と「自然」が共存する安心・安全でにぎわいのまちへ

さいたまスーパーアリーナや国の合同庁舎など都市機能が集積し、交通の利便性が高く、防災の拠点となる地区。防災機能を備える「安心・安全なまち」、「みどりと都市が融合するまち」、「にぎわいあふれるまち」を目指しています。



緑もたくさんあるんだよ!

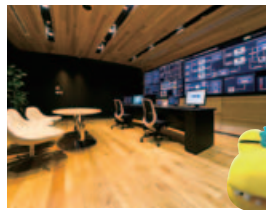
柏市

柏駅周辺や柏の葉キャンパス駅周辺の「都市拠点」と、市内の各地域・生活拠点の生活圏域を公共交通軸でつなぐことで、「多核的ネットワーク構造」による「柏版コンパクトシティ」の形成を進めています。

環境想造都市 柏

柏の葉 国際キャンパスタウンを目指したまちづくり

「柏の葉アーバンデザインセンター」を開設し、公・民・学の連携を進める柏の葉では、街区間での電力融通やCO2排出量の見える化など「環境共生」の取り組みをはじめ、「健康未来」、「新産業創造」という3つのテーマを軸に、国際キャンパスタウンの実現に向けた取り組みを進めています。



街区間で電力融通する仕組みは全国初なんだって!

豊四季台 高齢者にもやさしい、健康長寿なまちづくり



高齢者が安心して元気に暮らすことができるまちづくりを進めるため、柏市、東京大学、UR都市機構3者で協力し、さまざまな医療・介護サービスを組み合わせた拠点の整備や、生きがい創出のための就労支援などを行っています。

いつでも元気で活躍できる!

柏駅 歩行者を優先した回遊性の高い広がりのあるまちへ

「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」において、広がりを持った魅力と多様性のある市街地の形成と歩行者優先のまちづくりを推進し、通りごとに特徴を持った居心地の良い空間の検討をしています。通りに関わる方と、将来像についてワークショップを行っています。



できあがりを楽しみだ~!



近未来へ KICK OFF!

コンパクトシティってなんだろう?



写真: 柏の葉キャンパス駅前

「コンパクトシティ」。この言葉を聞いたことがありますか? 「初めて聞いた」、「聞いたことはあるけれど、意味はよく分からない」という人もいるかもしれません。コンパクトシティとは、住宅や商業施設などのさまざまな都市機能を集め、公共交通で結んだ、便利で住みやすいまちのこと。コンパクトシティとなることで私たちの暮らすまちの未来は、どう変わっていくのでしょうか?

今回の特集では、コンパクトシティ形成にも役立つ「未来型のまちづくり」を進めている「さいたま市」、「柏市」について、両市で活躍する2人にお互いのまちの取り組みや魅力について話し合ってもらいました。

「さらに魅力的な浦和美園づくりに関わる仕事をしています」
横田由美子さん

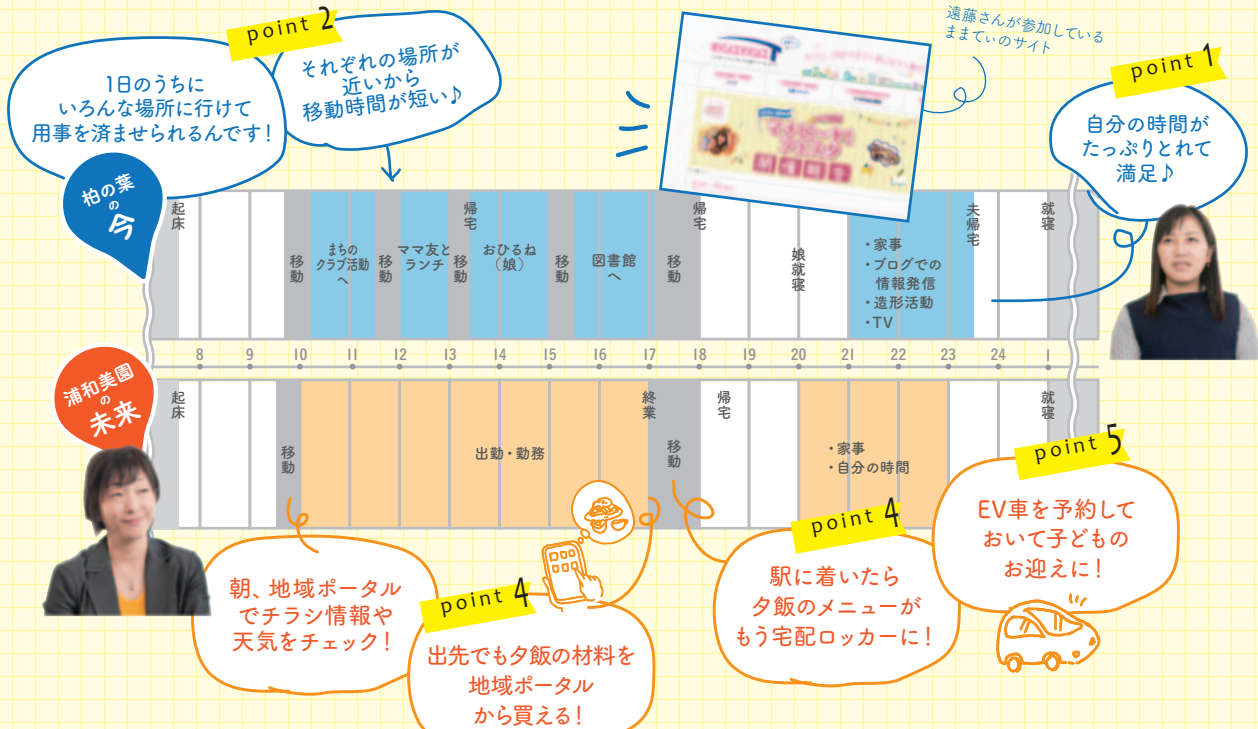
「柏の葉キャンパスに住んでいます」
遠藤ゆみさん
優那ちゃん



お2人のインタビューは3ページから

おまけ情報 見沼んぼで生まれ育ったヌウと、手賀沼在住のカシワニ。「沼つながり」の2人(?)です。カシワニはヤキトリと甘い物が大好き! そのせいで、虫歯が!?

柏の葉の今と浦和美園の未来 1日のタイムスケジュール



コンパクトシティに住んだら
ライフスタイルってどうなる!?



まちの木々が少しづつ色付きはじめた小さい秋のはじまりの日、柏の葉キャンパス駅前の「柏の葉アーバンデザインセンター」にて2人の対談が始まりました。関わり方は違うものまちづくりの力を注ぐ2人が語る、まちの今と未来とは？

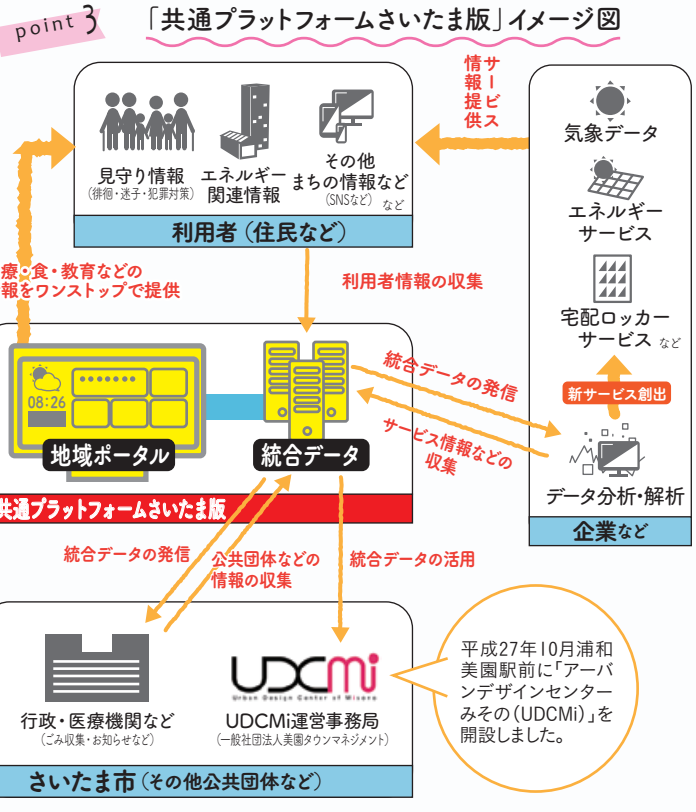
柏の葉と浦和美園の1日を再現したタイムスケジュールを交えながら話してもらいました。

柏の葉で活動する女性代表

遠藤ゆみさん
柏の葉在住10年のママ。在職中は都内勤務で、優那ちゃん(2歳)が生まれてから専業主婦としてまちづくりに関わる。現在は、ままたの柏の葉地区ブログ担当(毎日1000件を超えるアクセスあり!)

浦和美園で活動する女性代表

横田由美子さん
外資系IT会社勤務のママ。主な仕事内容は「ICTを活用したまちづくり」。美園地区のスマートシティ開発に関わり始めて5年目、この仕事には公私ともに思い入れがあるそう。本籍地・さいたま市。



point 1 おたがいのまちに対するイメージは？

point 2 遠藤 さいたま市は、文化や芸術に熱心に取り組まれている印象が強いです。浦和美園については埼玉スタジアムが有名ですね。

point 3 横田 柏の葉はのどかだけれど、利便性を備えていて住みやすい住宅街。でも、東大や千葉大などもある「最先端のまち」というイメージです。お2人とも関わり方は異なるものの、まちづくりに携わっていらっしゃるんですね。

point 4 遠藤 私たちが引越しを決めた当時の柏の葉は、空き地に建設中の商業施設があり、「これから発展しそうだな」という期待がありました。が、まさかこんなに早くにぎやかになるとは！現在はTX沿線育児情報サイトを「ままたい」を通じて、ブログを中心に広報活動を行ったり、「柏の葉アーバンデザインセンター(UDCMi)」と一緒に企画するイベントで、造形担当をすることもあります。

point 5 横田 美園地区において、私たちは「スマートシティさいたまモデル」の構築を掲げています。一言でいうと「※ICTを活用した、グローバルでよりよいまちづくり」です。私はこの取り組みの中で「スマートシティ」として、都市をよりよく、スマートにしていこうという提案を行っていきます。そして、美園地区における「公民学」連携のまちづくりを進めるために設立されたのが「アーバンデザインセンターみその(UDCMi)」です。私たちは、さいたま市をはじめ、地域の企業や教育・研究機関と連携したまちづくりを進めています。

point 1 まちの自慢や特徴を教えてください。

point 2 遠藤 徒歩や自転車で行ける範囲内でも、さまざまな施設が充実していても便利です。また、道がフラットで歩道も広いので、ベビーカーの並行も可能ですし、子育てをするには申し分ないですね。

point 3 横田 現在ですと、健康増進、安心・安全に関する情報や、低炭素型

point 1 モビリティなどの新たな地域サービスをワンストップで使えるような、地域の情報共通基盤(共通プラットフォームさいたま版)の開発を進めています。例えばスマートフォンなどを使わない人でも、デジタルTVを介して先進的な地域サービスを利用できる仕組みを考えています。来年には「消費エネルギーの見える化」も始める予定です。将来、外出先でスマートフォンを通して注文した食品を浦和美園駅構内の冷凍冷蔵機能付ロッカーで受け取れたり、同じく手配した小型EVや電動アシスト自転車を利用して帰宅できるなど、近未来的なシステムを活かした「ゆとりある生活」の提案も考えています。

point 2 遠藤 柏の葉でも、駅前のマンションなどの一部では自動的に使用電力量などを見られるシステムが稼働しているようですが、お聞きしたような取り組みがさいたま市で実現したら魅力的ですね。

point 3 横田 柏の葉では農業体験希望者への支援も厚いという話を聞いたのですが、実際はどうですか？

point 4 遠藤 駅前に体験型貸農園があったり、市民主体の「まちのクラブ活動」では、土いじりを行うクラブがあるみたいですよ。

point 5 横田 美園地区でも、ファーマーズマーケットなどのイベントを考えています。今後、共通プラットフォームさいたま版が提供するサービスを通して、農業を身近に感じ、お子さんと一緒に土いじりする感覚で無農薬野菜を収穫できるような生活が実現したら素敵ですよ。

point 1 これから浦和美園のまちに住もうと思ってる方に、メッセージをお願いします！

point 2 遠藤 子育て家庭としては、さいたま市の保育士さんの人数や学校の多さは大変な魅力です。

point 3 横田 私たちからすると、美園地区の10年先を歩んでいる柏の葉は、まぶしい存在。先輩柏の葉から学び、住んでいる人が誇りを持っているような、さらなる「魅力あるまち」を目指せたら、と思います。

次号予告 ▶▶▶ 次号は、「防災都市づくり」について考えます。

※ICT…コンピュータやネットワークに関連する技術や設備、サービスなどの総称

ではさっそく！
投稿してみよう

1 スマートフォンで「ウェザーニュース」アプリをダウンロードする。アプリを起動する。

2 現在の状況を写真に撮る



3 状況の様子を選び、コメントを書いて送信！



基本的な機能や仕組みはSNSと同じですが、FacebookやブログのようにURLの設定は不要です。Twitterより入力できる文字数が多いのも、特徴のひとつです！



簡単に投稿できる例として、スマートフォンによる使用例を掲載しましたが、左記のQRコード、または以下のURLから、「さいたま減災プロジェクト」のサイトを通して投稿することもできます。

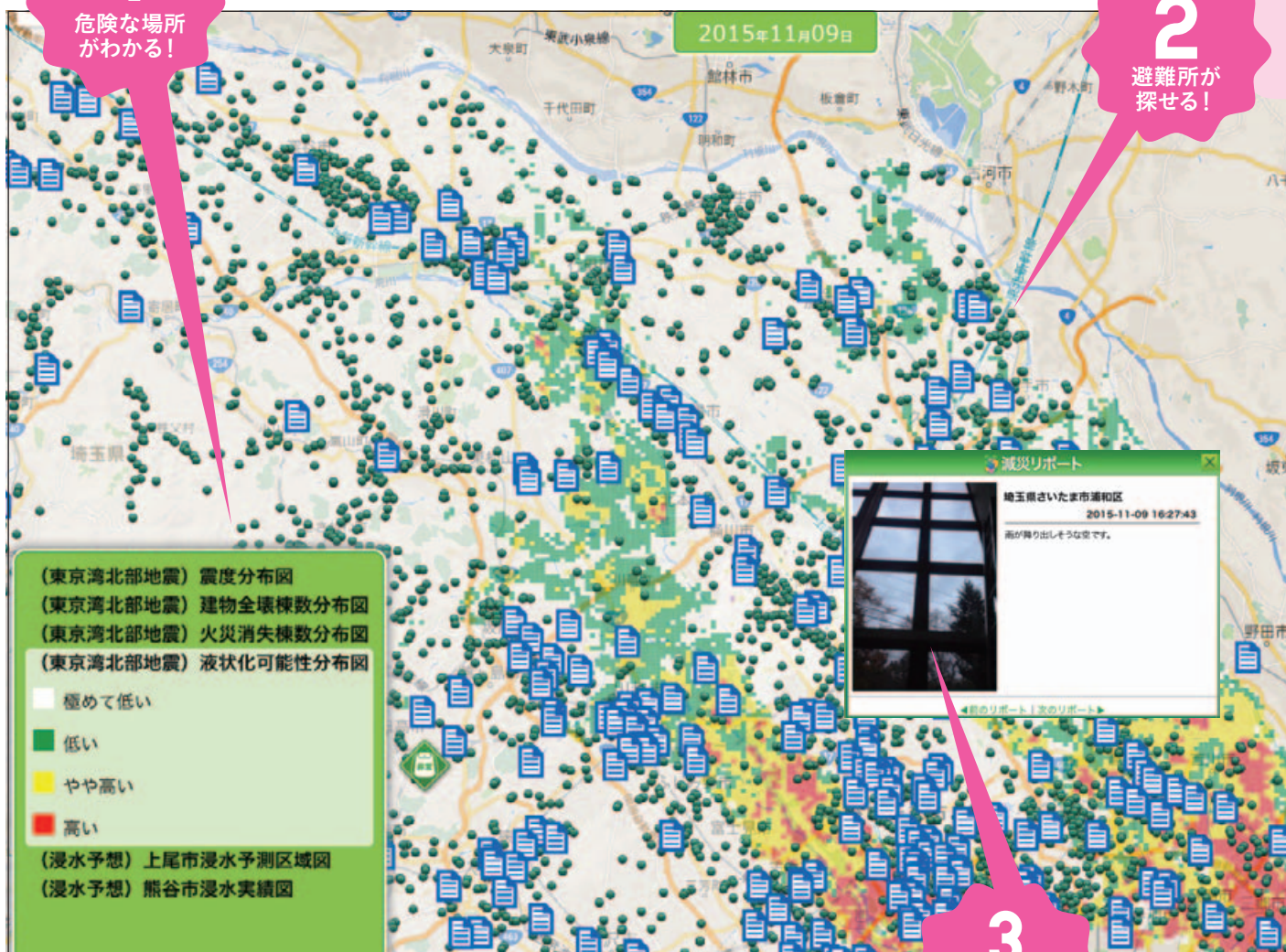
http://weathernews.jp/gensai_saitama/

Q どんな場面で役立つでしょうか？

地盤の「液状化」や「震度分布図」などの防災関連図面を閲覧できるほか、避難所を調べられるので、防災の観点からも役立ちます。自宅の建設や建て替え時に知りたい土地の情報源として活用できます。

1 さまざまな種類のハザードマップを閲覧できます。

危険な場所がわかる！



2 避難所が探せる！

このアイコンをクリックすると避難所の名前や住所などを見ることができます。

3 現在の状況を画像つきで投稿できる！

このアイコンをクリックすると「減災レポート」を見ることができます。

過去のデータも！
「さいたま減災プロジェクト」の稼働は平成26年4月からですが、それ以前の情報もさかのぼって閲覧することができます。過去の日付けに絞った検索もできます。

「さいたま減災プロジェクト」を活用しよう！

突然襲ってくる地震や洪水などの自然災害…。そんな「もしも」のときに、頼りになるサイトがあることを知っていますか？
地域の生の声を知ることができるだけだけでなく、自ら情報を発信することもできる、災害時に役立つ「さいたま減災プロジェクト」の取り組みを紹介します！

システム導入に携わった田中さんに解説してもらいます！



埼玉県都市計画課 田中勝也さん

Q さいたま減災プロジェクトとはなんですか？

防災および減災を「まちづくり」の一環と捉え、災害時に各自が持っている情報を地域で共有し合うことで自助、共助を推進します。また平時から防災関連図面をワンストップで提供します。災害時に想定されるさまざまな問題を事前に把握しておくなど、災害が起こる以前の包括的な備えを、埼玉県では「事前復興」と呼んでいます。この事前復興を円滑に行うための取り組みのひとつが、「さいたま減災プロジェクト」です。



きっかけは…
実際に雪害や竜巻被害を目の当たりにしたことが、このさいたま減災プロジェクト発案のきっかけになりました。

Q どのように使ったらよいですか？

地震や強風など、災害の種類ごとに情報を抽出できるため、ユーザーが知りたい情報をピンポイントで得ることができます。また、事前にメールアドレスを登録しておくことで、災害発生時に地域情報を受信することが可能です。

『西大宮駅前広場のシンボルツリー』



ケヤキは、埼玉県の木であり、さいたま市の木でもあります



「数ある候補の中から、この2本を選びました」とツガの木の前で語る安部さん



植樹式の様子

『ケヤキ』と『ツガ』

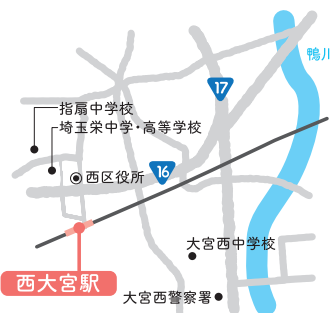
—明日に向かって伸びる枝—



JR西大宮駅の北口にある、一本のケヤキ。電車から降り立った乗客を最初に迎えるこの木が、新駅を彩る「シンボルツリー」として植えられたのは6年前のことです。西区の原風景のイメージを今に残し、行き交う多くの人々に四季の便りを届けています。

一方、ケヤキの反対側にある常緑樹、ツガは「もう一本のシンボルツリー」。西区内の神社でよく見られる針葉樹を意識したものだといいます。

西区区民会議では、地域にゆかりのある二種の植樹を提案。地域のシンボルとして植えられたこの2本の木は、平成22年にさいたま市の景観重要樹木として、それぞれ指定を受けました。同会議委員で部会長を務めた安部邦昭さんは、提案をした際の思いについてこう話します。「誰しも望むのは、金太郎飴のような似通った街並ではないはず。次世代にも『地元らしさ』を継承していきたいですね」。



表紙の写真 / 「浦和美園駅周辺」



写真中央に位置するのは、2001年に開業した埼玉高速鉄道埼玉スタジアム線「浦和美園駅」。駅北側には、埼玉スタジアム2002があり、サッカーの開催日などは多くの人々にぎわいます。駅周辺のまちづくりの進捗にあわせて、学校や大型商業施設も開設されており、地域の特性を生かした、近未来のまちづくりが進められています。

ホームページもチェックしてみてね!

『korekara』WEBサイトでは、誌面の紹介のほか、編集のこぼれ話やまちづくりに関する話題などを更新中。ぜひご覧ください!

「korekara」では、皆さんの声を広報誌の誌面に反映させるため「読者モニター」を随時募集しています。ぜひご登録ください。

あて先 ▶ 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
都市局都市計画部都市総務課 まで
TEL:048-829-1394 FAX:048-829-1979
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp



もっと身近に、
もっとしあわせに

さいたま市 korekara

検索